



目次

I 桜町本通り商店街の概要	1
II 第1期商店街活性化計画事業の成果	2
III 現状の課題	4
IV 第2期商店街活性化計画の基本方針と目標	5
V 事業計画	6
VI 推進体制	8

桜町本通り商店街振興組合

平成20年5月26日

I 桜町本通り商店街の概要

1 商店街組合員の現状 第1期商店街活性化計画（H16年）から現在（H20年4月）までの推移

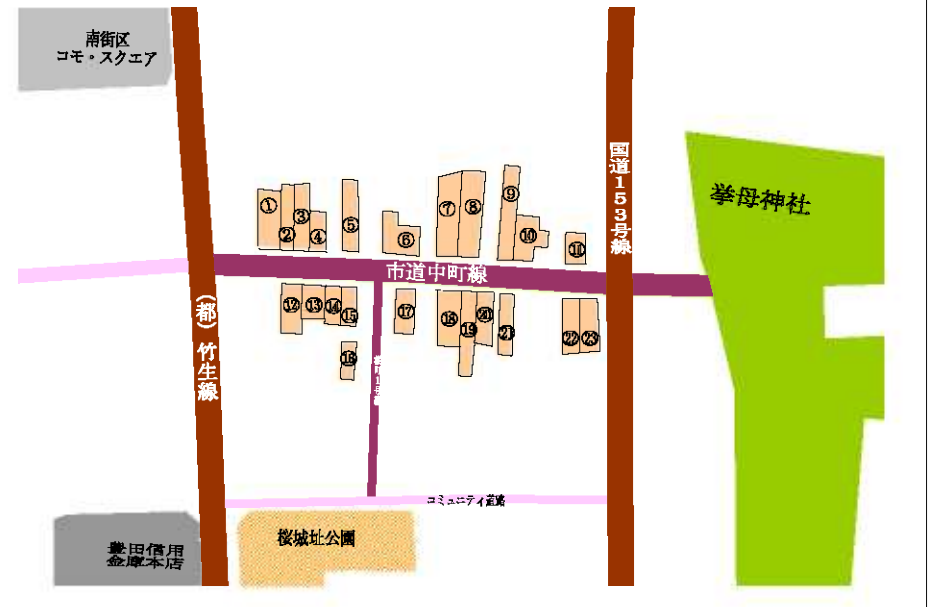
- 組合員数が1店舗増加し、業種の偏りが若干解消した。
- ・空き店舗に居酒屋が開店し商店街に加盟したことで、1店舗増加し、23店舗となった。
- ・H16年に衣料品・身回品店が8店舗あったが、現在5店舗となった。サービス業が1店舗から4店舗に増加した。

◆組合員23店舗の主な取り扱い商品

衣料品・身回品 5店		家庭用品 3店		飲食料品店 1店		卸売業 2店	
主力商品	店	主力商品	店	主力商品	店	主力商品	店
呉服・和装品	1	日用雑貨	2	酒類	1	麺類	1
婦人服	1	金物・刃物類	1			酒類・菓子材料	1
靴・履物	1						
学生服	1						
毛糸(手芸)	1						
文化用品 5店		サービス 4店		飲食店 3店			
主力商品	店	主力商品	店	主力商品	店		
寝具	2	理容	1	和食堂	1		
宝石・貴金属	1	エステ	1	スナック	1		
仏壇仏具	1	写真スタジオ	1	居酒屋	1		
人形	1	会計事務所	1				

22 組合員 (平成16年) → 23 組合員 (平成20年4月)

◆組合員位置図



◆組合員屋号

屋号	取り扱い商品	屋号	取り扱い商品
1 学生衣料の勇吉屋	学生服	12 成田会計事務所	会計事務所
2 時計とめがねの塚田	貴金属	13 増田屋金物店	金物店
3 居酒屋さくらまち	居酒屋	14 きもの丸定	呉服
4 毛糸 ひつじや	毛糸	15 理容室Be-1	理容
5 ふとんの寿屋テイサン	寝具	16 メンバース祇園	バー
6 菓子又商店	酒類・菓子材料卸	17 婦人服の山田屋	婦人服
7 太平製麺	乾麺卸	18 マルタケ人形店	人形
8 イウトン	寝具	19 ロマン	エステサロン
9 光明堂仏壇店	仏壇・仏具	20 そふ川屋	靴・履物
10 白藤商店	日用雑貨	21 桜工房	写真スタジオ
11 正富	和食堂	22 リカー&ギフトマルマス	飲料販売
		23 古瀬間屋商店	日用雑貨

●は新規創業した組合員→3店舗
●は業種転換した組合員→1店舗

◆組合員の主な取り扱い商品の推移(H20←H16)



- 衣料品・身回品店が減少し、サービス業が増加した。
- ・呉服、和装品店が2店舗、婦人服店が1店舗、それぞれがサービス業に転換した。
- ・うち、2店舗は店主の世代交代も行われた。
- 空き店舗に飲食店が入り、組合に加盟した。

衣料品・身回品 3店舗 (平成16年)

➔ **サービス業 3店舗 (平成20年4月)**

空き店舗 1店舗 (平成16年/非組合員)

➔ **飲食店 1店舗 (平成20年4月/組合加盟)**

Ⅱ 第1期商店街活性化計画事業の成果

1 第1期商店街活性化計画事業の成果

目標1 店舗の経営・営業力強化	目標2 商店街環境整備事業	目標3 商店街活性化事業
<p>業態転換、新規創業による店舗の営業力に努めた</p> <p>1頁の組合員の現状のとおり、3店舗が業態転換を実施し、うち2店舗は店主の世代交代も行われた。また、空き店舗に居酒屋が入居した。</p>  <p>婦人服オーダー店 →エステサロン 豊田市ががんばる商店街新規創業者支援制度活用 (平成17年度)</p>  <p>呉服・和装品店 →写真スタジオ 豊田市ががんばる商店街経営革新・業態転換支援制度活用 (平成18年度)</p>  <p>呉服・和装品店 →会計事務所 (平成17年度)</p>	<p>商店街環境整備による商店街らしい街並み、歩きたくなる街並み形成ができた(平成17年度)</p> <p>商店街統一の外壁装飾、突出し看板、パナーの設置を実施した。合わせて、豊田市が道路のバリアフリー整備を実施した。</p>  	<p>商店街の活性化(賑わいづくり)として八日朝市の開催を行い、集客やお客様との交流に努めた(平成18年度～継続)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・拳母神社の八日市に合わせ商店街の通りも、地産地消にこだわった朝市の実施、交流イベントとして歌声ホール、ちんどん屋のねりあるきを実施した。 ・ワゴンセールなど店先で売り出しを実施した。 ・お客様へのおもてなしとして、お菓子のふるまいやベンチの設置を行った。      

2 その他成果

平成18年度『ブランド商店街』認定 / 愛知県
愛知県下で桜町本通り商店街を含む11の商店街が認定された。



平成18年度愛知県ブランド商店街冊子より抜粋

平成19年度『都市景観大賞 美しいまちなみ優秀賞』受賞 / 国土交通省
商店街ファサード整備と豊田市の市道中町線バリアフリー整備について、官民共働で実施した実績が評価され、受賞となった。
※桜町本通り商店街は、まちづくり協議会(桜町まうだら会)として活動した。




授賞式の様子

他の商店街への波及効果があったと考えられる
桜町本通り商店街の活性化計画策定後、中心市街地で3商店街が計画策定を行った。

- ・西町商店街協同組合 H18年度策定
- ・一番街商店街振興組合 H19年度策定
- ・ひまわり通り商店街振興組合 H19年度策定

II 第1期商店街活性化計画事業の成果

3 第1期商店街活性化計画事業の実施状況

◎完了し満足できる内容である / ○実施完了、または継続中。ほぼ満足できる内容である / △実施完了、または継続中。見直しの必要がある / ×取組みに至らず

目標	事業内容	実施	実施年	特記事項		
1 店舗経営・営業力強化	店舗営業力の強化	・個店の改善計画の作成と実践 (店舗コンセプト、ターゲット、売上・利益目標、商品計画、販促計画、サービス戦略などの目標設定)	×			
		・顧客視点に立った商売の実践	△	H17～		
		・地域NO.1店舗の輩出(売上、満足度、こだわり、品揃えなど)	△	H17～		
	業種・業態の転換	・モデル店舗の設定と業種・業態転換の促進	○	H17～	新規創業1店 / 業態転換1店	
		・商店街としてディリー性の向上がはかれる店舗の導入(飲食、食品関係 例:和菓子、佃煮、お漬物等)	△	H18	飲食店(居酒屋)の新規オープン、加盟	
		・空き店舗等への対応	×			
人材育成と意識変革	若手事業者・後継者の育成	・商工会議所、中小企業大学校等の活用による、経営手法・知識の取得	×			
		・同業、異業種交流などのネットワークづくり	×			
	研修等の実施	・商業塾等の啓発事業への積極的参画	△	H18～	市商連の一品逸品に3店舗参加	
2 商店街環境整備事業	(ファサード)	看板・シャッター等の統一	・看板のデザインをあしらった商店街名の入った統一看板の設置	◎	H17	
			・デザインを統一したシャッターの設置	×		
			・統一のロゴ、デザインののれん(タペストリー)の設置	◎	H17	
	入口・ショーウィンドウ等の整備	・お客様が入りやすい店にするため入口の改善(自動ドアからオープンに)	×			
		・商品が見やすいショーウィンドウの設置	×			
		・蔵の活用(美術館、博物館、レストランなど)	×			
アーチ、街路灯等の整備	・桜町らしさを表現できるアーチ、街路灯の整備 例: 拳母まつりをイメージしたアーチ 例: 桜のデザインの街路灯の設置 例: 商店街店舗案内表示(看板)の設置	◎	H17	道路のバリアフリー化整備に合わせ街路灯を新設(豊田市)		
		◎	H17			
		◎	H17			
道路歩道整備事業	歩道の整備	・お年寄りから子供まで安心して歩けるバリアフリーの歩道に整備	◎			
		・拳母神社の参道、桜城址公園との回避など、商店街の歩道と裏道を歩きやすい道で一体化	◎	H17	・ファサード整備に合わせてバリアフリー化整備を実施(豊田市)	
		・安全で、快適に、歩けるよう歩道を拡幅	◎			
	車道の整備・駐車場の設置	・トランスの地中化または一箇所集中設置	○	H19	・トランスは塗り直しを実施	
		・凸面の設置等、速度が出ない道路	◎	H17	・桜城址公園、コミュニティ道路リニューアル予定(豊田市/H20年度)	
		・竹生線整備との連動	◎			
街路樹等の整備	・商店街の入口に駐車場の設置	×				
	・周辺の市営駐車場、豊信駐車場等を商店街として借用	×				
	・商店街の景観、歩行者の快適性に配慮した街路樹の整備	◎	H17	道路のバリアフリー化整備に合わせ実施(豊田市)		
3 商店街活性化事業	集客事業	八日市の活性化	・店舗を遮断しない低い植栽	◎		
			・季節感を演出する花飾り(通り一面にフラワーポットの設置)	◎	H18～	桜町ほうだら会で拡大実施
			・ベンチや縁台など(通り)にインテリア風小物(イスや家具)を設置しつろぎスペースをつくる	○	H18～	ベンチを1店舗あたり1台購入した
	チャレ事業・創出	地域コミュニティづくり	・八日市にあわせて、桜町商店街の売り出し、セールイベント等の開催	○	H16～	年末売り出し、抽選会
			・八日市開催の午前中、車両通行止めにし、イベント(ふるまい等)、ワゴン販売の実施	○	H16～	八日朝市の開催
			・年に数回、他商店街と共同感謝セールの実施	○	H16～	市商連(エコフレンド)と連動
おもてなし事業の実施	・ポイントカード、抽選会等お買い上げイベントの実施	・商店街婦人部による清掃・花飾りなど地域貢献、コミュニティーづくり	◎	H18～	桜町ほうだら会で実施	
		・拳母まつりに関連する行事の紹介	×			
		・消費者(地域住民)向け商店街主催の文化教室の開催(商店街取扱商品に関連した文化・趣味サークル)	○	H18～	わくわく事業のよさこい踊り、マルタケ人形店にて歌声サロン実施	
おもてなし事業の実施	・地域の名所、行事等の地域コミュニティ情報の発信・紹介	・地域住民・お客様などが集えるコミュニティスペースの確保	○	H18～	八日朝市のチラシに情報提供	
		・桜町銘品の創作	×			
		・1店逸品運動の実施	○	H18～	八日朝市にて、ベンチや休憩スペースを設置	
おもてなし事業の実施	・例: 全店がお客様に呈茶サービスの実施 ・通りに休憩できる椅子の設置	・店舗ごとに、お奨め、ONLY ONE商品(逸品)の選定とP. R	○	H18～	市商連の一品逸品に3店舗参加	
		・例: 全店がお客様に呈茶サービスの実施	○	H16～		
		・通りに休憩できる椅子の設置	○	H16～		

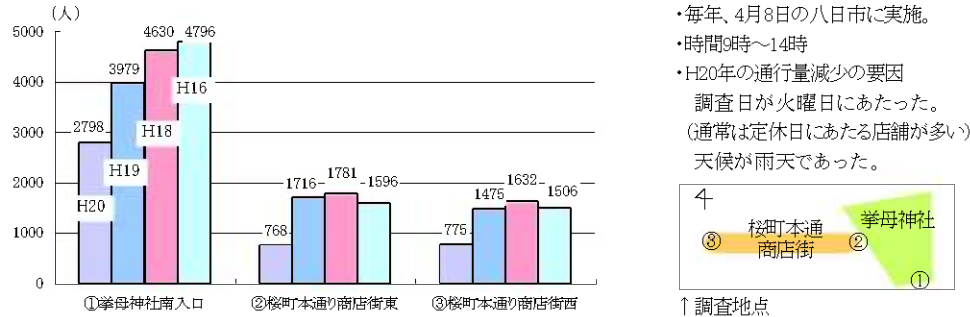
Ⅲ 現状の課題

1 第1期商店街活性化計画の成果を踏まえた現状の課題

①八日朝市開催から約2年経過し、集客数が伸び悩んでいる

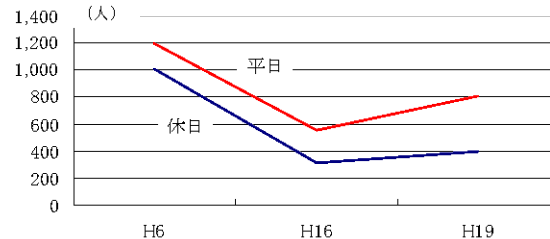
- ・H16年からH20年までの挙母神社の通行量は年々減少している。
- ・H18年の商店街ファサード整備完成時は、一時、商店街の通行量が増加したが、以降は年々減少している。

◆H20年←H16年 八日市開催(4月8日)歩行者通行量推移



②日常の通行量が依然、少ない

- ・H16年と比較すると増加しているものの、目標としたH6年の通行量には達していない。



(資料:豊田市中心市街地の通行量調査)

③店主の高齢化、後継者不足による空き店舗の問題が依然、残っている

- ・店主の年齢は、50才代、70才代が共に、29.4%と1番構成比が高い。
- ・次いで構成比が高いのが、60才代である。
- ・後継者がいない店舗が約4割ある。

◆店主の年齢構成比(%)

40才代	50才代	60才代	70才代	80才代	計
17.6	29.4	17.6	29.4	5.9	100.0

◆後継者の有無構成比(%)

後継者がいる	61.5
後継者がいない	38.5
計	100.0

(資料:平成18年中心市街地商業者の意識調査)

④第1期活性化計画事業を精査する必要がある

- ・第1期活性化計画では、42事業を計画し、28事業が実施に至った。(約7割)
- また、H16年の計画策定段階では、考えられる内容全てを採用したので、計画事業数が多くなった。
- 23組合員の商店街で全てを実行するのは難しかった。優先順位や効果を検証し、第2期計画に反映する必要がある。

◆3頁事業の実施状況のまとめ

目的	計画事業数	実施に満足	見直し等必要	取組み至らず
店舗経営・営業力強化	11事業	1事業	4事業	6事業
商店街環境整備	19事業	13事業	0事業	6事業
商店街活性化	12事業	9事業	1事業	2事業
合計	42事業	23事業	5事業	14事業

2 現状の課題への対応策

商店街の通りを人が歩く、しくみづくりが必要である。

- ・日常の買い物だけでなく、散歩に利用してもらうなど、人が通るしかけをする必要がある。
- ・八日市の集客が年々減少している。八日市の集客に頼らず人を呼びこむ方法を検討する必要がある。

話題性や、メリハリのあるイベントの実施が必要である。

- ・維持していくためには、常に話題性があり、年間でメリハリのあるイベントの組み立てが必要である。

店主の高齢化、空き店舗の増加について取り組む必要がある。

- ・店主の高齢化、空き店舗増加は、組合存続にかかわる重要な問題である。中心市街地活性化協議会で検討している空き店舗マッチングシステムと連携しながら取り組む必要がある。

商店街活性化に効果の高い事業に集中的に取り組む必要がある。

- ・商店街ファサードや道路整備、八日朝市の開催は通行量増加につながり、成果があったと思われる。今後、維持・継続していく取組みである。
- ・周辺では、大型マンション(南街区)完成し、道路や公園の整備事業がなされている。居住人口や近隣施設利用者の増加が予想されることより、地域交流に重点を置いた取組みが必要である。

IV 第2期商店街活性化計画の基本方針と目標

1 第2期商店街活性化計画の基本方針

< 活性化事業の位置づけ・考え方 >

- 第2期活性化計画は第1期計画の成果を維持継続し、さらに発展させる事業計画とする
- 中心市街地商店街のめざすべき方向の「こだわりのある商品とサービスを提供し、限界機能の拡充をめざす」にもとづいた取り組みとする
- 「店舗経営・営業力強化」「商店街環境整備」「商店街活性化」の3つの目的を持った展開とする
- 再開発事業、施設整備、道路整備などが予定されている。周辺環境を活かした取組みを行う
- 事業継続が最大の効果と考える。事業は、マンネリ化しないように、地域性や話題性、メリハリのある内容を工夫する

◆周辺環境と件

平成20年

- ・4月 豊田信用金庫本店新社屋完成
 - ・6月 再開発事業南街区「コモスクエア」マンション入居
- 平成21年(予定)
- ・3月 竹生線電線類地中化およびバリアフリー整備
 - ・3月 コミュニティ道路(竹生線東側)リニューアル整備
 - ・3月 桜城址公園リニューアル整備

◆事業コンセプト

桜町本通り商店街は

「下町の歴史と情緒」、「老舗商店街としての伝統と信頼」を大切にし、将来に向けてこだわりのある商品とサービスを提供し続ける商店街

をめざします

◆商店街の取り込む客層のイメージ

客層のイメージ

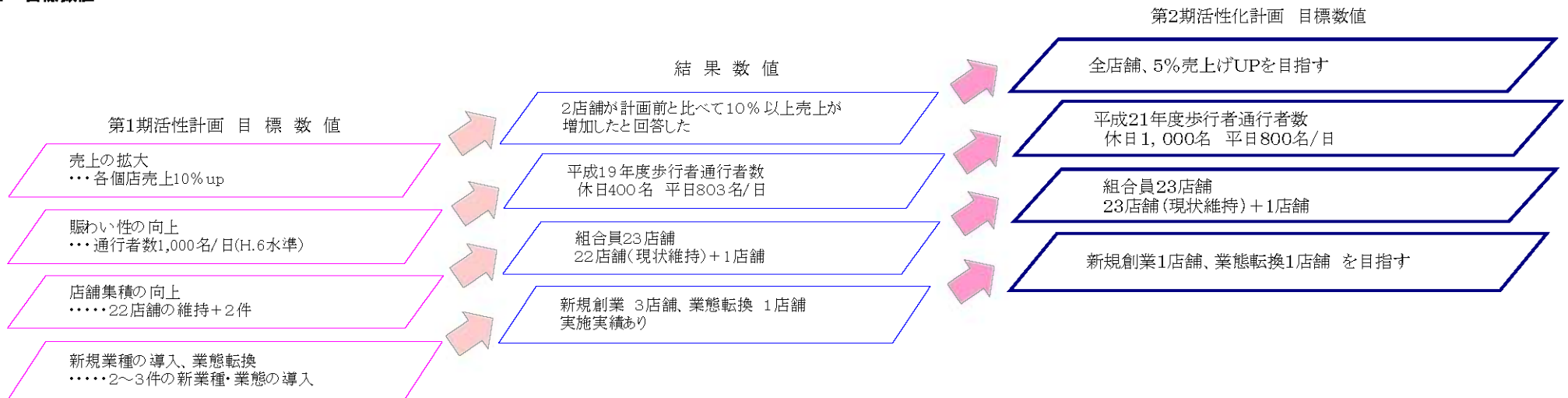
団塊と団塊ジュニア世代とその子供が集う三世代対応商店街
= おじいちゃん・おばあちゃん、おとうさん・おかあさんから、お孫さんまで =

特に強化するターゲット

- 品質やサービスにこだわる主婦層 (具体的なイメージ)
- ・子育てが一段落して自分のとき・ものを楽しむ余裕がある
- ・娘や夫と買物や趣味を共有したい、楽しみたい

- 交流意識の強い中高年層 (具体的なイメージ)
- ・友人どうしや夫婦で行動するのが好き (友人をたくさんつくりたい)
- ・孫といっしょに楽しみたい

2 目標数値



1 第2期活性化計画で強化する取組み

八日朝市の内容の充実を目指す

- ・ 拳母神社の八日市の集客が減少している状況の中、新たな来街者を呼び込む工夫をする。
- ・ 従来の地産地消にこだわった出店者の継続と拡大を図る。
- ・ まちなか居住者のライフスタイル、商店街のコンセプトに合った出店内容を検討する。
- ・ 地域交流、世代交流の場としての役割を目指す

● 移動販売車や屋台などの出店を検討



昨今のライフスタイルを見ると、惣菜等の加工食品の需要が高い。
八日市来街者の声でも、生鮮品よりも加工食品の要望が高い。
移動販売車や屋台による実演販売を検討したい。近隣マンション住人やオフィス需要も見込まれる。
また、なつかしいポン菓子や飴細工はお年寄りから子どもまで楽しめる。

● 商店街を 小中学校体験学習の場に提供



体験内容は掃除・商品の値段表示・陳列・接客など。
体験学習の最後に各お店から認定書と写真を授与する。
教室や家庭では子供たちが体験した話題で大いに盛り上がるでしょう。

● 店主の趣味や技術を活かしたイベントや教室を開催



マルタケ人形店の休業期間を利用して
店舗内でイベントや教室を実施する。

● 八日市開催に合わせた商店街合同のワゴンセールの実施



現在は、ワゴン販売を各店の都合に任せているが、商店街全体で取り組むことを検討。

商店街らしい、歩きたくなるような街並みづくりを行う

- ・ 店舗名や八日市などのイベントに合わせたバナーの付け替えや更新を行う。
- ・ 年3回のフラワーポット植え替えで季節感を演出する。

● バナーやフラッグの付け替えや更新



商店街ファサード事業で実施したバナーが老朽かしているため更新の必要がある。
現在、屋号、八日市、商店街名のバナーとフラッグがあるが、ふれ愛フェスタなどイベントごとに付け替えるように、新調することを検討。

● 四季折々の花木で彩り、歩きたくなるような街並みをつくる



桜城址公園の桜や商店街の名前にちなみ、通りに桜のポットを設置した。
まだ小さいが、大きくなるにつれて、宣伝をして、通りの名所としたい。

季節や色彩などテーマを決めてフラワーポットの植え替えを行い、景観に配慮する。
テーマを決めて、年3回のフラワーポットの植え替えを行う



● 歴史や伝統を活かした、地域との共働による街並み景観の向上



トランス(地上器)に拳母まつりの山車の絵を描くことを検討



商店街入口にあるポケットパークの活用
「美しいまちなみ 優秀賞」のプレートを
豊田信用金庫地の発掘調査で出土した
拳母城石垣の石にはめ込んだ。(H19年実施)

V 事業計画

2 第2期活性化計画事業一覧

※大字は重点事業

目標	事業内容		H20年度	H21年度	H22年度	
1 店舗経営・営業 力強化	業種・業態転換への対応	・豊田市商店街連盟「一店逸品運動」に積極的参画	市商連事業に準ずる	←→	←→	←→
		・個店の経営改善をめざしシニアアドバイザー、タウンマネジャー等を活用	随時			▶
		・商店街事業、個店の魅力等ノウハウの習得を目的とした定期的な先進地視察の開催	年1回実施	●	●	●
	空き店舗等への対応	・空き店舗、後継者がいない店舗への今後の対応を検討	中活協検討内容に準ずる			▶
	若手事業者・後継者の育成	・商工会議所を活用し、経営手法・知識の取得	随時			▶

目標	事業内容		H20年度	H21年度	H22年度	
2 商店街環境整備事業	商店街ファサードの維持管理	・バナーの更新	毎年1回更新	●	●	●
		・ファサード維持のため管理規程等の作成	H20年検討、H21年度より実施	管理規程検討	実施	▶
		・ファサード補修	管理規程に準ずる	管理規程検討	実施	▶
	快適な商店街空間の演出	・季節感を演出する花飾り(通り一面にフラワーボットの設置)	年3回、植え替え実施	●●●	●●●	●●●
		・季節感の演出、話題づくりを目的としたイルミネーション	年1回冬季に実施	◀12月▶	◀12月▶	◀12月▶
		・ベンチや縁台など通りにインテリア風小物(イスや家具)を設置しくつろぎスペースをつくる	現在、八日市に設置常時設置など要検討			▶

目標	事業内容		H20年度	H21年度	H22年度	
3 商店街活性化事業	八日市の活性化	・出店内容、出店数の充実	近隣町村、業者に 出店依頼			▶
		・集客目的で、イベントやふるまいの充実を図る	八日市に実施、年12回			▶
	地域コミュニティづくり	・商店街婦人部による清掃・花飾りなど地域貢献、コミュニティづくり ※花飾り事業と連携	年3回、植え替え実施			▶
		・消費者(地域住民)向け商店街主催の文化教室の開催 ※八日市と連携 (商店街取扱商品に関連した文化・趣味サークル)	年3回実施	●●●	●●●	●●●
		・地元小中学生の体験学習の場に提供 ※八日市と連携	市内小中学校に依頼	依頼・検討		▶
		・地域の名所、行事等の地域コミュニティ情報の発信・紹介	八日市チラシ発行に合わせて実施	年3回 ●●●	年3回 ●●●	年3回 ●●●
	共同セール・イベントの実施	・年に数回、感謝セールの実施	年2回実施を目指す			▶
		・ふれ愛フェスタの開催	4、5月のいずれか日曜日の1回	●	●	●
		・抽選会等お買い上げイベントの実施	年末抽選会	◀12月▶	◀12月▶	◀12月▶
		・八日市にあわせて、ワゴン販売やセールなどの売り出しを行う	八日市に実施、年12回			▶
・八日市ふるまい時に商店街PRチラシを一緒に配布する		八日市に実施、年12回			▶	
桜町ブランドの創出	・桜町銘菓(例:まんじゅう)、お酒、オリジナルキャラクターなど創出	実施を検討	検討・調査		▶ 実施 ▶	

